

いろいろな人の力を借りて何とかやっています

訪問介護のヘルパーさんには、週に1度来てもらっています。震災の時は、このように長引くとは考えずに、家族が分かれて避難をしたけれど、再び同居を考えた時に、2階建ての家で暮らすには、足腰が弱ってしまっていました。避難前からひざに痛みも抱えていたし、平屋に建て替えた村の自宅で暮らしたいと、家族に頼んだんです。そして今年の7月に帰ってきました。お嫁さんや娘が、食料品や日用品を買って、顔を見に来てくれます。新しく建てた家だから、どこかに泊まりに来ているような心細さはあるけどね。

福祉用具として、ベッドと、室内用・外出用それぞれの押し車を借りて、それも助かっています。外出用の押し車で、天気の良い日は散歩を欠かしません。ここは見晴らしがいいでしょ。携帯電話をたがえてね、途中で何度も休んで景色を眺めながら、ゆっくり散歩します。押し車は、川俣町にある事業所のデイサービスに行く時にも持って行きます。家まで迎えに来てもらえるのでね。

デイサービスの他にも、週に1度、サポートセンター「つながっぺ」に行っています。1人であるから、人と話しに出かけないとね。体操や踊りを教えてもらったりして、先生から「笑ってごまかしてもOK!」と言われた時には「見つかっちゃったな」と思ったよ。あとは、地区のミニデイにも、参加させてもらっています。

「村に帰った」と役場に報告に行ったら、その後、村の地域包括支援センターの保健師さんがすぐに来てくれて、「これを利用してみたらどうでしょう」「これはあった方がいいですよ」としてもらいました。本当にありがたかったですね。



菅野キミ子さん
(関根・松塚)

取材にうかがった日、幼馴染の三浦トメノさん（深谷ノ右端）が、キミ子さんを訪ねて来ました。「どうしているかなあと顔を見に来たの」



キミ子さんの所は、事業所のヘルパー3人で担当しています。主に室内の清掃とお風呂の掃除をさせていただいていますが、キミ子さんから要望があれば、途中で買い物をしてきて料理もします。

キミ子さんは、積極的に行動されていて、自立した生活をがんばっています。こちらが元気をもらいますね。訪問すると、この1週間の間のできごとを、いろいろと話してくれるので、何に不便を感じているか、何がほしいかなども分かって、お手伝いもしやすいです。

身だしなみもキレイにされていて、今日もとっても素敵ですね。

1週間分のお話を楽しく聞きながら



介護ヘルパー
齋藤裕子さん
訪問介護おてひめ
(伊達市月舘町)

介護保険の居宅サービスの1つで、訪問介護事業所のヘルパーが利用者の自宅を訪れ日常生活のサポートを行います。

訪問介護

一歩一歩を積み重ねています

帰村した高齢者の方が利用できる介護サービスはまだ限られています。事業所との調整で、曜日や時間帯の条件を整えれば、村内でも訪問介護や訪問入浴などの居宅サービス（自宅にいながら受けられるサービス）を利用することができ、また、送迎が可能な地区では、村外のデイサービスを利用している人もいます。要介護度に応じて福祉用具の貸与を受けられることも可能です。

村地域包括支援センターや、いたて在宅介護支援センターのケアマネジャーなどが、必要に応じて訪問し、要介護認定の申請手続きの支援や、ケアプラン（介護サービスの計画書）の作成を行い、村内で利用できる介護サービスの再開を、可能な所から一つひとつ調整しているところです。

村地域包括支援センター

各自治体に設置されている地域包括支援センター。高齢者の暮らしを支援する地域の拠点として、多方面の機関と連携して、高齢者とその家族を総合的にサポートします。村の地域包括支援センターは、地域活性化センター「いちばん館」の中にあります。

いたて在宅介護支援センター

各地に設置されている高齢者介護の相談窓口。高齢者やその家族からの相談に応じて、必要なサービスが受けられるよう、行政や事業所などとの間で調整を行います。高齢者が福祉サービスや介護サービスを受けるための申請の代行なども行います。

村内だけでもご利用いただけます



中山徹さん
アースサポート福島
(福島市)

「訪問入浴」をご存知でしょうか。居宅サービスの一つで、身体や住環境などさまざまな理由で「お風呂に入れない」とお困りの方のご自宅に、スタッフがお湯を沸かすポイラーを積んだ車で訪問し、お部屋の中に簡易式の浴槽を設置して入浴していただくサービスです。

ご本人や介護者の負担軽減や、身体を清潔に保つ効果はもちろんですが、お風呂に入ると気持ちがすっきりして、生活意欲の向上につながります。会話を楽しんでいただきながら進めていきますが、お客様のお話は楽しく、また勉強にもなりますね。何よりも、喜んでいただけることが、私たちスタッフの喜びであり、一番のやりがいです。

ケアプランの中に訪問入浴を取り入れてみたい方は、担当のケアマネジャーに相談してみてください。

訪問入浴

介護保険の居宅サービスの1つ。専門のスタッフが、移動入浴車で浴槽を利用者の自宅に運び入浴介助を行うサービス。